



2025年1月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年12月10日

上場会社名 ポールトゥウィンホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3657 URL <https://www.phd.inc>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橘 鉄平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 山内 城治

TEL 03-5909-7911

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第3四半期の連結業績(2024年2月1日～2024年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期第3四半期	37,259	10.8	634	9.8	614	23.0	226	
2024年1月期第3四半期	33,622		703		797		291	

(注) 包括利益 2025年1月期第3四半期 505百万円 (%) 2024年1月期第3四半期 213百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期第3四半期	6.41	
2024年1月期第3四半期	8.02	

(注) 1. 2024年1月期第3四半期は会計方針の変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

2. 2024年1月期第3四半期の対前年同四半期増減率は会計方針の変更を遡及適用しているため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年1月期第3四半期	27,113	12,087	44.5
2024年1月期	24,436	13,441	55.0

(参考) 自己資本 2025年1月期第3四半期 12,078百万円 2024年1月期 13,435百万円

(注) 2024年1月期は会計方針の変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年1月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期		8.00		16.00	16.00
2025年1月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年1月期の連結業績予想(2024年2月1日～2025年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,007	9.2	1,803	304.5	1,849	251.9	322		9.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

会計方針の変更を遡及適用しているため、対前期増減率は遡及修正後の数値で算出しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年1月期3Q	38,156,000 株	2024年1月期	38,156,000 株
2025年1月期3Q	2,795,751 株	2024年1月期	2,795,730 株
2025年1月期3Q	35,360,263 株	2024年1月期3Q	36,295,568 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

在外子会社の収益及び費用の換算方法は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更したため、当該会計方針の変更を反映した遡及修正後の数値で比較分析を行っております。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されますが、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場に停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動に十分注意する必要があります。

このような経済状況のもとで、当社グループにおいては、顧客のサービスやプロダクトのライフサイクルの企画、開発、リリース、運用、改善の工程（サービス・ライフサイクル）において、品質コンサルティング、ゲームデバッグ、ソフトウェアテスト、環境構築・移行サポート、モニタリング、カスタマーサポート、不正対策、BPRサポート等を提供するサービス・ライフサイクルソリューション事業をグローバルで推進しております。当第3四半期連結累計期間においては、ポールトゥウィン株式会社では、業務の標準化、効率化や品質担保、ビッグデータ解析による新ビジネスの創出や人材育成を目的としたプロジェクト管理ツール「FACT」の開発を公表いたしました。PTW America Inc.では、9月にゲーム開発アウトソーシング事業を運営するGhostpunch Games, LLCの事業を譲受し、当社グループの既存の顧客に対して、ゲーム開発に付随する従来サービスの他、ゲーム開発そのもののアウトソーシングサービスの提供が可能となりました。株式会社HIKEでは、教育プログラムの共同運営及びアニメーション・ゲーム領域の人材獲得を目的として、韓国・清江文化産業大学校と産学連携協定を締結いたしました。また、メディア・コンテンツの一气通貫での制作能力を向上し、事業拡大を図るために、6月にPTWジャパン株式会社よりレコーディングスタジオ運営及び音響制作事業を譲受いたしました。業績については、海外ソリューションが売上を牽引し増収となりました。費用については、国内ソリューションにおける拠点統合費用が大幅に減少しておりますが、海外ソリューションにおける事業整理費用やメディア・コンテンツにおけるゲーム共同開発追加負担費用が発生しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高37,259,580千円（前年同期比10.8%増）、営業利益634,336千円（同9.8%減）、経常利益614,457千円（同23.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失226,595千円（前年同期は291,161千円の損失）となりました。

業務の種類ごとの業績は、次のとおりであります。

なお、前第3四半期連結累計期間において「国内ソリューション」に含めていたPTWジャパン株式会社及び株式会社デルファイサウンドの収益は、第1四半期連結累計期間より会社の所在地ではなく経営管理上の区分を基準に分類する方法に変更したため、当第3四半期連結累計期間においては「海外ソリューション」に含めて表示しており、この表示方法の変更を反映した組替え後の数値で比較分析を行っております。

① 国内ソリューション

当業務では、国内子会社において、ゲーム市場向けには、デバッグ、カスタマーサポート、ローカライズ、海外進出支援に関するサービス提供を行っております。Tech市場向けには、ソフトウェアテスト、環境構築、サーバー監視、データセンター運営、キッティングに関するサービス提供を行っております。Eコマース市場向けには、モニタリング、カスタマーサポートに関するサービス提供を行っております。Tech市場向けのソフトウェアテストやシステム開発は案件の大型化が進み、当業務の売上高成長を牽引いたしました。

この結果、国内ソリューションの売上高は18,449,026千円（前年同期比6.6%増）となりました。

② 海外ソリューション

当業務では、主に在外子会社において、デバッグ、ローカライズ、音声収録、カスタマーサポート、製品開発サポート、グラフィック開発に関するサービスを行っております。当第3四半期連結累計期間は、海外のゲーム業界の環境が持ち直し、音声収録やカスタマーサポートが増加したこと、Ghostpunch Games, LLCの事業譲受による新規連結寄与や円安効果によって売上高が増加いたしました。

この結果、海外ソリューションの売上高は13,998,672千円（前年同期比19.3%増）となりました。

③ メディア・コンテンツ

当業務では、主に国内子会社において、「IP360° 展開」を軸にアニメ制作、ゲームパブリッシング、グラフィック開発、マーケティング支援、バリアフリー字幕・音声ガイド制作に関するサービスを行っております。事業の選択と集中により不採算事業の撤退を進めたことで売上高が減少しましたが、アニメ制作では制作単価向上もあり売上高が増加いたしました。

この結果、メディア・コンテンツの売上高は4,811,881千円（前年同期比5.2%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,083,622千円(6.3%)増加し、18,307,122千円となりました。これは主に、現金及び預金が1,100,190千円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が1,296,484千円、仕掛品が892,792千円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,593,140千円(22.1%)増加し、8,806,063千円となりました。これは主に、工具、器具及び備品が103,316千円減少したものの、のれんが1,558,076千円、ソフトウェアが298,258千円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2,676,763千円(11.0%)増加し、27,113,185千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4,219,669千円(41.9%)増加し、14,292,238千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が198,228千円減少したものの、短期借入金が2,494,029千円、未払金が1,088,076千円、その他(前受金等)が803,782千円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて188,698千円(20.5%)減少し、733,888千円となりました。これは主に、長期借入金が144,191千円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4,030,971千円(36.7%)増加し、15,026,126千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,354,208千円(10.1%)減少し、12,087,059千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払い等により利益剰余金が1,075,241千円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年9月10日の「第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績との差異、及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,843,562	6,743,372
受取手形、売掛金及び契約資産	6,448,144	7,744,628
商品及び製品	9,000	19,016
仕掛品	821,129	1,713,921
その他	2,135,561	2,113,748
貸倒引当金	△33,899	△27,565
流動資産合計	17,223,499	18,307,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,269,548	2,086,775
減価償却累計額	△816,941	△699,330
建物及び構築物（純額）	1,452,606	1,387,444
機械装置及び運搬具	74,934	76,789
減価償却累計額	△30,723	△38,132
機械装置及び運搬具（純額）	44,211	38,657
工具、器具及び備品	3,261,567	3,546,409
減価償却累計額	△2,441,588	△2,829,747
工具、器具及び備品（純額）	819,979	716,662
その他	48,902	25,395
有形固定資産合計	2,365,699	2,168,159
無形固定資産		
のれん	1,064,982	2,623,059
ソフトウェア	520,587	818,845
無形資産	735,000	661,500
その他	3,997	3,997
無形固定資産合計	2,324,568	4,107,403
投資その他の資産		
投資有価証券	624,036	709,829
敷金及び保証金	1,166,062	1,168,205
繰延税金資産	464,159	474,207
その他	622,625	587,982
貸倒引当金	△354,229	△409,724
投資その他の資産合計	2,522,654	2,530,499
固定資産合計	7,212,922	8,806,063
資産合計	24,436,422	27,113,185

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年10月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	4,505,970	7,000,000
1年内返済予定の長期借入金	248,227	49,999
未払金	2,912,845	4,000,921
未払費用	545,172	522,493
未払法人税等	521,845	531,602
賞与引当金	28,629	73,560
その他	1,309,878	2,113,660
流動負債合計	10,072,568	14,292,238
固定負債		
長期借入金	240,666	96,475
退職給付に係る負債	153,553	130,667
繰延税金負債	328,281	293,278
その他	200,085	213,466
固定負債合計	922,586	733,888
負債合計	10,995,154	15,026,126
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,239,064	1,239,064
資本剰余金	2,183,442	2,183,442
利益剰余金	11,925,454	10,850,212
自己株式	△2,552,259	△2,552,270
株主資本合計	12,795,701	11,720,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28,957	△8,778
為替換算調整勘定	669,089	367,144
その他の包括利益累計額合計	640,131	358,366
非支配株主持分	5,434	8,242
純資産合計	13,441,267	12,087,059
負債純資産合計	24,436,422	27,113,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)
売上高	33,622,202	37,259,580
売上原価	25,622,479	28,825,431
売上総利益	7,999,722	8,434,148
販売費及び一般管理費	7,296,455	7,799,812
営業利益	703,266	634,336
営業外収益		
為替差益	87,597	—
助成金収入	47,260	59,432
保険解約返戻金	—	5,783
その他	21,835	47,691
営業外収益合計	156,693	112,906
営業外費用		
支払利息	9,201	34,286
為替差損	—	61,294
投資有価証券運用損	11,002	19,520
貸倒引当金繰入額	20,000	—
自己株式取得費用	4,955	—
その他	17,042	17,684
営業外費用合計	62,202	132,785
経常利益	797,758	614,457
特別利益		
固定資産売却益	—	7,675
投資有価証券売却益	27,429	—
特別利益合計	27,429	7,675
特別損失		
固定資産除却損	2,713	12,003
投資有価証券評価損	177,137	49,990
減損損失	316,677	26,356
特別損失合計	496,528	88,350
税金等調整前四半期純利益	328,659	533,782
法人税等	622,446	757,569
四半期純損失(△)	△293,787	△223,786
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,626	2,808
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△291,161	△226,595

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)
四半期純損失(△)	△293,787	△223,786
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,651	20,179
為替換算調整勘定	536,144	△301,945
その他の包括利益合計	507,492	△281,765
四半期包括利益	213,705	△505,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	216,331	△508,360
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,626	2,808

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(在外子会社の収益及び費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用については、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、為替相場が著しく変動する中で在外子会社の業績の重要性が増しており、また、一般消費者向け海外プロダクトビジネスの拡大によって今後もその重要性が増すことが見込まれることから、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるため、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

なお、当社は第7期(2016年1月期)において新たに連結会計システムを導入しており、第6期(2015年1月期)以前の期間については会計方針の変更による影響額が軽微であるため、2015年2月1日より期中平均相場により円貨に換算する方法を適用しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、売上高が638,075千円減少し、営業利益が25,822千円増加し、経常利益が13,946千円、税金等調整前四半期純利益が13,946千円、親会社株主に帰属する四半期純損失が3千円減少しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、前連結会計年度の利益剰余金の遡及適用後の期首残高は2,798千円減少し、為替換算調整勘定の遡及適用後の期首残高は同額増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、「サービス・ライフサイクルソリューション事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)
減価償却費	546,075千円	715,938千円
のれんの償却額	224,217	227,586